

# 公益社団法人インテリア産業協会

## 令和2年度事業報告

(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

### I 基本方針関連（概要）

年度当初に掲げた基本方針関連の事業の概要については次のとおりです。

#### 1) IC・KS有資格者等の能力向上・育成関係

一般生活者並びに有資格者の能力向上・育成のためのインテリア等に関する基礎知識の習得、有資格者の経験に応じた講座等のセミナーは、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、一部を除いて対面での講座開催は中止し、ウェブサイトを利用した講座を実施しましたが、前年に比べ開催回数は大きく減少し本部及び全国9支部で34件の実施となりました。

#### 2) インテリア普及啓発関係

一般生活者を対象とした展示会は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、全て中止としました。また、若い世代に向けたインテリア普及活動の絵画コンテストにつきましては、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を徹底し、全国で3件実施しました。

#### 3) 広報活動

協会システム全般のセキュリティ強化や利便性向上等を目的としたデータベース統合は、当初の計画どおりに完成し、2020年7月にリリースしました。リリース後、事業継続性の観点を踏まえ健全かつ安定的な運営に努めました。

### II 個別事業

#### ア. インテリアコーディネーター等を目指す者への教育、情報提供

##### 1. IC・KSハンドブックの書籍頒布

ICまたはKS資格認定試験を受けようとする者、インテリアについて学ぼうとする者などに対するの書籍頒布については、「インテリアコーディネーターハンドブック統合版」9刷版と「改訂二版キッチンスペシャリストハンドブック」3刷版の印刷を行い、頒布に供しました。

##### 2. 資格取得の学習等を支援する通信教育事業

通信教育事業については、IC・KS資格試験の受験を目指す者やインテリアについて学ぼうとする者に対して、次のとおり講座を実施しました。

- ① IC受験講座（総合／一次／実技）：のべ330人（前年度313人）が受講
- ② KS受験講座（総合／学科／実技）：のべ117人（前年度105人）が受講

## イ. インテリアコーディネーター等の認定試験

### 1. IC資格認定試験

第38回IC資格認定試験は、ソーシャルディスタンスの確保、新型コロナウイルス感染症対策ガイドラインに沿った会場運営など、感染症拡大防止対策を行い実施しました。このため、借り上げ会場数を大幅に増やし、一次試験では22会場、二次試験では14会場を確保しました。実施日、試験地域は次のとおりです。

- ・一次試験 令和2年10月11日(日)  
試験地域：北海道、東北、関東甲信越、中部、関西、中国、四国、九州、沖縄
- ・二次試験 令和2年12月6日(日)  
試験地域：一次試験と同地域

合格者数等の結果は次のとおりです。

#### ■令和2年度(第38回)一次試験・二次試験別申込者・受験者・合格者の概要

【一次試験】		【二次試験】	
受験申込者数	9,041	二次受験対象者数 <sup>(注)</sup>	4,161(内：一次免除者1,576)
受験者数	7,908	受験者数	3,526
一次合格者数	2,693	二次合格者数	2,045
一次合格率	34.1%	二次合格率	58.0%

注：二次受験対象者数(4,161)は、基本タイプ一次合格者数(2,585)＋二次試験タイプ申込者数(1,576)

#### ■合格者の推移

実施回 [年度]	資格取得対象 受験者数 <sup>(注)</sup>	合格者数 (二次合格者数)	合格率
令和2年度 [第38回]	8,468	2,045	24.1%
令和元年度 [第37回]	7,561	1,896	25.1%
平成30年度 [第36回]	8,966	2,135	23.8%
平成29年度 [第35回]	8,569	1,931	22.5%
平成28年度 [第34回]	8,589	2,055	23.9%

注：一次・二次の試験を通じて、当該年度に資格取得まで目指した受験者数

### 2. KS資格認定試験

第33回KS資格認定試験を、次のとおり実施しました。

- ・試験日 令和2年12月6日(日)(IC二次試験と同日)
- ・試験地域 全国9地域(IC二次試験と同地域)

合格者数等の結果は次のとおりです。

#### ■合格者の推移

年度	申込者数			資格取得対象 受験者数 <sup>(注)</sup>	合格者数	合格率
	総合	学科/実技	総数			
令和2年度 [第33回]	554	250	804	614	175	28.5%
令和元年度 [第32回]	571	291	862	703	222	31.6%
平成30年度 [第31回]	632	346	978	786	288	36.6%
平成29年度 [第30回]	939	362	1,301	1,050	397	37.8%
平成28年度 [第29回]	1,096	323	1,419	1,159	417	36.0%

注：学科及び実技の試験を通じて、当該年度に資格取得まで目指した受験者数

## ウ. インテリアコーディネーター等の登録

### 1. 資格登録

令和2年度 I C 資格認定試験合格者 2,045 人および K S 資格認定試験合格者 175 名を対象とする資格登録業務を実施しました。年度末時点で I C 資格登録申請 2,041 名、K S 資格登録申請 174 名を受け付け、資格証（初回登録年月日 2021 年 4 月 1 日付）を交付しました。

### 2. 登録更新

定常的な I C・K S 資格者の登録更新業務（対象者約 16,000 名）を、データベース統合により稼働した新システムを利用して確実に実施しました。連絡先住所不明者に対する登録メールアドレスによる住所照会に加え、事前の更新予告連絡を発信し、更新案内の徹底を図りました。なお、在宅業務併用等による人員配置状況を踏まえ、電話照会の実施はやむなく中止しました。

年度末における登録資格者（有効資格者）数は次のとおりです。

- ・ I C 資格登録者数： 58,893 人
- ・ K S 資格登録者数： 8,455 人

### 3. I C・K S 読本

資格者の活動に有益な知識・情報を盛り込んだ「I C・K S 読本」は、法改正内容を中心に内容の最新化を行い、新規登録者及び更新対象者全員に提供しました。

## エ. インテリアコーディネーター等の能力向上のための講座等の開催

一般生活者並びに I C 及び K S の有資格者を対象に、インテリア等に関する基礎知識の習得、I C や K S の職業人としての能力向上を目指した研修事業として、全国各地で講座、セミナーを 34 件開催しました。新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、一部を除いて対面での講座開催は中止とし、ウェブサイトを利用した講座を実施しましたが、前年に比して開催回数は大きく減少しました。

#### ①北海道支部（1件）

◇「北海道支部第1回 WEB セミナー」

#### ②東北支部（1件）

◇「2021年インテリアコーディネーターの未来」

#### ③関東甲信越支部（12件）

◇「～旅への誘い～西洋更紗トワルド・ジュイとともに時空の旅へ」など

#### ④中部支部（2件）

◇「オンラインセミナー「新生活様式の暮らしスタイル」」など

#### ⑤関西支部（8件）

◇「図書館セミナー」など

#### ⑥中国支部（2件）

◇「インテリアコーディネーターとつきりませんか。超高齢社会の福祉インテリア」など

#### ⑦四国支部（1件）

◇「インテリアの提案に欠かせない好印象を与えるマナー」

⑧九州支部（6件）

◇「長崎工業高等学校 出前授業」など

⑨本部（1件）

◇「抗ウイルスセミナー」

**オ. インテリアコーディネーター等が実施する調査・研究に対する支援**

IC・KS等が行う調査・研究への支援として、昨年同様、キッチン、インテリアに関してテーマ公募を行い、次のとおり3件の調査・研究に対して活動資金を助成しました。

①応募テーマ数 3件（キッチン関係：1件 インテリア関係：2件）

②採択テーマ数 3件（キッチン関係：1件 インテリア関係：2件）

③採択テーマ名

《キッチン関係》

◇保育所における調理室の設えに関する調査・研究（保育所クッキング研究会）

《インテリア関係》

◇家具配置が室内空間の広さ感に与える影響について（インテリア研究会）

◇超高齢社会を守り助けるカーテン（窓際向上委員会）

**カ. インテリアコーディネーター等を目指す者及びインテリアコーディネーター等の能力向上のためのコンテストの開催**

IC・KS資格制度の普及と資格者の能力向上を目的に、誰もが自由に応募可能な次のコンテストを継続実施しました。優秀作品については、昨年度に引き続き「作品集」および入賞作品を掲載した「年度型カレンダー」を制作して広く頒布し、事業の普及に努めました。

《制作物》

①作品集：キッチン空間アイデアコンテスト（1,200部）

住まいのインテリアコーディネーションコンテスト（1,200部）

②カレンダー：住まいのインテリアコーディネーションコンテスト一般部門およびキッチン空間アイデアコンテストの統合版（400部）

**1. 住まいのインテリアコーディネーションコンテスト**

令和2年度も経済産業大臣賞、経済産業省製造産業局長賞の下付を受けて、次のとおり実施しました。

**【一般部門】**

①応募受付期間 令和2年9月10日（木）～10月15日（木）

②募集内容（応募作品数）

◇事例分野

新築部門（26） リフォーム部門（26） スタイリング部門（25）

◇課題分野

A部門：「SDGsとインテリア空間」（125）

B部門：「ニューノーマルにおけるリビング空間」（23）

③応募総数 225作品

- ④審査結果 経済産業大臣賞 1 作品、製造産業局長賞 1 作品、協会会長賞 2 作品、部門賞 5 作品、優秀賞 5 作品、特別審査員 4 作品、合計 18 作品

⑤入賞作品一覧

■事例分野

賞名	応募部門	タイトル	受賞者	勤務先・学校名	都道府県
経済産業大臣賞	リフォーム部門	like a workation	庭本卓実	一級建築士事務所 Long Life Tools	東京都
会長賞	新築部門	焼杉のほくら	相川直子	相川佐藤建築設計事務所	東京都
部門最優秀賞	リフォーム部門	皮膜の増築 -和座敷を和モダンに	保科章	保科章建築設計室 一級建築士事務所	東京都
	新築部門	A model	石本輝旭	株式会社 CURIOUS design workers 一級建築士事務所	愛知県
	スタイリング部門	My favorite is	財茂仁美	株式会社 OKUTA デザイン部	埼玉県
部門優秀賞	新築部門	植物と暮らす家	北村泰之	-	大阪府
	リフォーム部門	Laugh away	石亀奈津美	ヤマサハウス株式会社	鹿児島県
	スタイリング部門	ELECTIC LIVING	平田貴子	-	岡山県
特別審査員賞	スタイリング部門	しょうじのあな	山田 寛	一級建築士事務所 LoHA	福井県

■課題分野

賞名	応募部門	タイトル	受賞者	勤務先・学校名	都道府県
製造産業局長賞	B 部門	tuji	星野学人	スペースデザインカレッジ 東京校	東京都
会長賞	A 部門	方丈の三荘	江上史恭	FUMI EGAMI ARCHITECT s	福岡県
部門最優秀賞	A 部門	雨を迎えるガラスの傘	鈴木滉一	神戸大学大学院工学研究科建築学専攻 栗山研究室	兵庫県
	B 部門	PentaLiving	松尾勇弥	スペースデザインカレッジ東京校	東京都
部門優秀賞	A 部門	風の木漏れ日	笹本佳史	greap 株式会社(グレープカブシキガイシャ)	東京都
	B 部門	ミツパッチ リビング	渡辺治美	-	北海道
特別審査員賞	A 部門	俺の Atelier	笠谷幸司	スペースデザインカレッジ東京校	東京都
	A 部門	roka	久利侑大	専門学校 穴吹デザインカレッジ	香川県
	B 部門	ASOVING	穴沢成路郎	スペースデザインカレッジ東京校	東京都

【高校生部門】

令和 2 年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響に伴い中止としました。

2. 知ろう、学ぼうアイデアコンテスト

- ①募集内容：テーマ『新型コロナウイルスとインテリア』に沿った、新しい暮らしの中で「あったらいいな」と思うインテリアアイデアのイラスト、絵画、デザインを募集。(参加対象は小学生・中学生・高校生)
- ②募集期間：令和 2 年 1 月 20 日 (水) ～ 2 月 19 日 (金)
- ③応募作品数：小学生 (35) 中学生 (30) 高校生 (269)
- ④表彰内容：最優秀企画賞 1 作品、優秀企画賞 1 作品、特別賞
- ⑤入賞作品一覧

賞名	部門	作品名	受賞者	学年
最優秀企画賞	中学生	なかよし家族の小さな森 EN-TAKU	小林 美陽	2
優秀企画賞	小学生	対コロナハウス	安澤 秀哉	5
	中学生	ウォータープランナー	市川 凜	2
	高校生	ランニング廊下と非接触式検知器付ブラインドドア	浜野 百花	2
特別賞	高校生	Besk	平川 百華	2
	高校生	心踊る机	川口 ほのか	1

### 3. キッチン空間アイデアコンテスト

募集要項を関係各種機関へ配布し、協会ウェブサイトでの募集、コンテスト専門ウェブサイト（登竜門）等を広報に利用し、次のとおり実施しました。

- ①応募受付期間 令和2年8月1日～9月30日
- ②応募テーマ「こんな人にこんなキッチンを伝えたい」
  - A部門：団らん・優しいキッチン空間
  - B部門：暮らしが変わるキッチンリフォーム空間
- ③応募総数 182作品（A部門148 B部門34）
- ④審査結果 会長賞1作品、部門別最優秀賞2作品、優秀賞6作品、奨励賞14作品 合計23作品
- ⑤上位入賞作品一覧

賞名	タイトル	受賞者	勤務先・学校名	都道府県
会長賞	まちの おしゃべり とおりにわ	大塚 典子	いたや木材有限会社	大阪府
最優秀賞A部門	jogger's kitchen	時枝 晴子	スペースデザインカレッジ大阪校	大阪府
最優秀賞B部門	暮らしと好みに合わせたキッチン	花井 佳代	株式会社ハウジングネットワン	広島県
優秀賞	磯の食卓	望月 柚、佐々木 媛都	日本大学、東京都市大学	神奈川県
	NEWスタイル サポートキッチン	西村 利華	スペースデザインカレッジ京都校	京都府
	FUN KITCHEN TRUCK	岩藤 めぐみ	スペースデザインカレッジ大阪校	大阪府
	#誰かと繋がる日替わりキッチン	鈴木 滉一	神戸大学大学院	兵庫県
	茶の間キッチン	桑原陽子、小山征吾、山口 剛	株式会社OKUTA	埼玉県
	4.5mのテーブル	島 綾子	416 アーキテクト	大阪府

### キ. 消費者に対するインテリアに関する普及啓発活動及び展示会の開催

#### 1. 絵画コンテスト

絵画コンテスト（「こんな部屋いいな」）については、3支部（東北、九州、沖縄）で実施しました。

- ①第5回あったらいいなこんな家（沖縄県）

主催：タイムス住宅新聞社

共催：公益社団法人インテリア産業協会沖縄支部

応募総数：393

賞名	受賞者	学校名	学年
最優秀賞	廣澤 壱汰	久米島町立久米島小学校	1
優秀賞	山内 昌橙	糸満市立兼城小学校	1
	西原 あいさ	西原町立坂田小学校	2
	大城 良介	那覇市立天久小学校	6
	我如古 亜美	西原町立坂田小学校	3

- ②第8回こんな部屋いいな絵画コンテスト（鹿児島県）

主催：公益社団法人インテリア産業協会九州支部

共催：鹿児島県インテリアコーディネーター協会

応募総数：3,349

賞名	受賞者	学校名	学年
こんな部屋いいな賞	碩 野季	西陵小学校	1
インテリア産業協会九州支部長賞	関糸 優直	西田小学校	6
鹿児島県インテリアコーディネーター協会長賞	小丸 凜子	草牟田小学校	3

### ③第18回こんな部屋いいな絵画コンテスト（宮城県）

主 催：公益社団法人インテリア産業協会東北支部

共 催：宮城インテリアコーディネーター倶楽部

応募総数：947

賞名	受賞者	学校名	学年
こんな部屋いいな絵画コンテスト大賞	間野 智遥	宮城教育大学附属小学校	4
宮城県知事賞	鈴木 望乃佳	宮城教育大学附属小学校	3
仙台市長賞	四戸 咲希	仙台市立八幡小学校	5
宮城県教育委員会教育長賞	湯澤 瑞葵	富谷市立東向陽台小学校	6
仙台市教育委員会教育長賞	正木 望丹	仙台市立栗生小学校	6
インテリア産業協会会長賞	大槻 こうめ	仙台市立榴岡小学校	6
インテリア産業協会東北支部支部長賞	佐藤 奏帆	大郷町立大郷小学校	2
	門間 明杜	仙台市立七郷小学校	6
宮城県インテリアコーディネーター倶楽部会長賞	宮内 利佳子	仙台市立南小泉小学校	2
	永井 彩菜	富谷市立東向陽台小学校	6

## 2. 展示会等の催し

令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、展示会等の催しはすべて中止としました。

## 3. 学校への教材頒布

### ①中学生向けインテリア普及教材の作成頒布

中学生向けの「技術家庭科・副読本」については、例年と同様に配布を行った結果、中学校503校、約7万7千部の実績となり、インテリアの普及を図りました。

### ②高校生向けインテリア普及教材の作成頒布

昨年度から頒布を開始した「技術家庭科・副読本」の高校生版を全国の高校に希望を募り139校、約2万8千部を無償配布しました。

## III 協会の組織運営

### 1. 協会本部に設置する委員会組織体制と主な活動内容

外部有識者や協会会員企業により委員会を構成し、協会各事業の実施・運営方針等を審議するなどの活動を行い、各事業を推進しました。具体的には次のとおり。

#### (1) 運営委員会

本委員会では、次年度活動方針、同年度予算案等の審議を行い、事業計画・収支予算作成に反映するなど事業運営を推進しました。

#### (2) 情報・広報委員会

本委員会では、コロナ禍における各種イベント告知方法について議論しました。また、協会案内の改訂に取り組みました。

#### (3) IC資格制度検討委員会

本委員会では、受験者の増加に向けた資格試験の制度改善などを検討しました。

#### (4) インテリア普及啓発委員会

本委員会では、展示会事業、「住まいのコーディネーションコンテスト」の方針の立案や実施推進を行うほか、インテリア関係の調査研究助成のテーマ審査などを行いました。

## **(5) K S 資格普及啓発委員会**

本委員会では、「キッチン空間アイデアコンテスト」の方針の立案やキッチン関係の調査研究助成事業のテーマ審査などを行いました。

## **2. 会員活動**

### **(1) 協会への入会促進活動**

協会ウェブサイトや各種パンフレット等により定常的に広報を行うとともに、本部・支部の各種事業イベントを通じて、幅広く関連企業等に入会を働きかけました。年度末時点の会員数は次のとおり。

◇年度末会員数：正会員数は 150（前年度 160）賛助会員は 18（前年度 20）

### **(2) 「会報」の定期的な発行**

協会事業活動のタイムリーな情報を盛り込んで、年 4 回の会報を発行しました。

## **3. 広報活動**

ウェブ会議システムを用いた支部セミナーの新たな取組みについて、全支部の情報を不定期に 3 回、新システムを通じてメールマガジンの配信を希望する資格者へ全国配信し、資格者への情報提供に取り組むとともに支部セミナーへの参加を促しました。

また、システム統合を通じ、本部および支部のウェブサイトを単一サイト上に集約・統合し、協会の各種情報を一元的に掲載できるようウェブサイトの全面刷新を実施しました。これにより、旧来、本部・支部ウェブサイトが分離していたために一元的に協会情報を閲覧できない課題等を解消し、利便性の向上につなげました。

## **4. 交流活動**

インテリア関連の業界団体、教育機関、学術団体等との連携、関連メディアとの交流を引き続き推進しました。また、内閣府、経済産業省など関係官公庁との連絡を的確に行い、当協会の諸事業の適正な運営に努めました。

## **5. その他**

資格者の登録情報等のデータについて一元管理を目指す新規システム（統合システム）開発プロジェクトは、新型コロナウイルス感染症発生による影響を受けつつも、適切にプロジェクト管理を行い、当初計画通り 2020 年 7 月に完成・リリースしました。

以上